

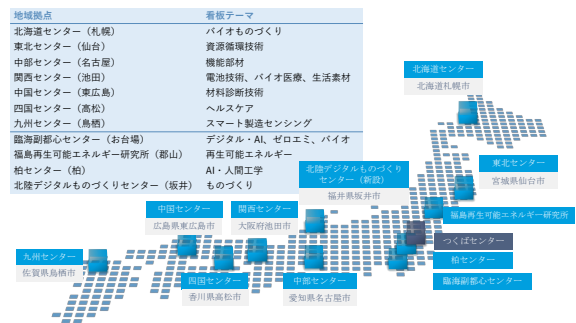
産総研のバイオリソース解析プラットフォームを活用した社会課題の解決に向けた取り組み

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

- ▶ データ解析のためのクラスタマシンと先端的な実験設備を集積
- ▶ 農林水産、廃水・廃棄物処理、バイオものづくりなどにおける研究の知見を活用
- ▶ 共同研究等の推進により産業における課題の解決と循環型社会の構築に貢献

「産総研」は国内最大規模の研究所です

- 日本に3組織しかない特定国立研究開発法人の一つ
- 1882年設立の農商務省地質調査所に始まる100年以上の歴史
- 全国各地に12か所のネットワーク
- 約2,300名の在籍研究員に加え、4,000名以上の外部人材が活躍（民間企業、大学、公的研究機関などの研究者・学生を外来研究者・技術研修生として短期間受け入れています）
- 年間共同研究契約数は約3,000件（民間企業、大学、公的研究機関などと連携・協力を行っています）
- 例年、博士型・修士型等の研究職員、事務職員を公募



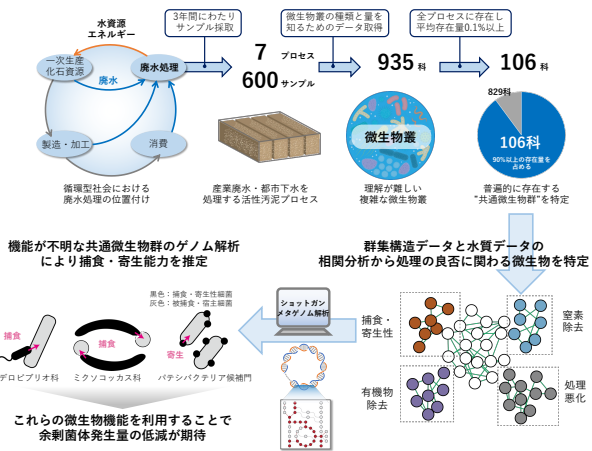
「バイオリソース」から新しい生物機能を発掘する

- 産総研北海道センターに導入された「バイオリソース解析プラットフォーム」では、民間企業・大学・地域バイオコミュニティ等との共同研究やナショナルプロジェクト等での連携により、様々なバイオリソースから新しい生物機能を発掘し、農林水産物等の生育促進や機能性開発、廃水・廃棄物の処理技術や利活用といった応用技術への展開を試みることで、産業における社会課題の解決を目指しています。



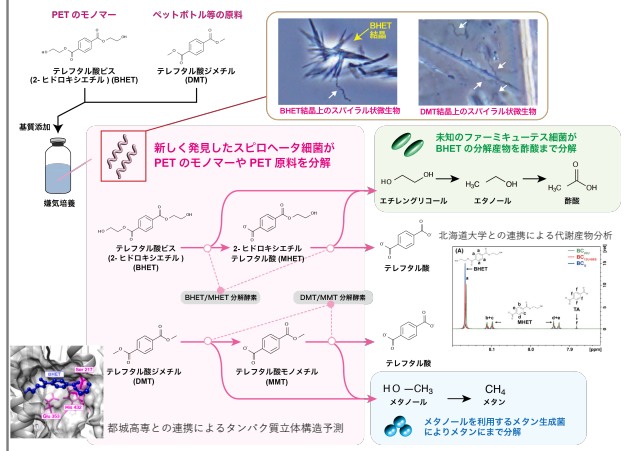
■ 廃水処理に利用される活性汚泥プロセスに共通する微生物群を特定

2023年9月5日プレス発表, Water Research X 20:100196 (2023)



■ PET関連物質を酸素の無い環境で分解する微生物を発見

2022年7月11日プレス発表, Chemical Engineering Journal 450(1):137916 (2022)



生命工学領域 生物プロセス研究部門 微生物生態工学研究グループ 成廣 隆, 伊藤英臣
連絡先: t.narihiro@aist.go.jp

産総研
ともに挑む。つぎを創る。